

福岡アジア美術館 第III期 アーティスト・イン・レジデンスプログラム

ドキュメンタリー映像制作ワークショップ

「記憶を編む」

参加者募集



福岡アジア美術館では、招聘アーティストによるドキュメンタリー映像制作のワークショップを開催します。ラテン・アメリカ諸国において350本以上のドキュメンタリーを制作してきた映像制作ユニットのドクペルー（ホセ・バラド、ヒメナ・モーラ）が講師を務める、全6週間・参加無料の集中講座です。

ワークショップでは、創造力を駆使して社会や個人の現実を描き出すドクペルー独自の制作理論を学びながら、短編ドキュメンタリー映像をチームメンバーとともに共同制作します。この機会に、あなたの視点を映像と音によって記録・表現するドキュメンタリー映像制作に挑戦してみませんか。

実施期間	2023年1月17日(火)～2月25日(土) A日程 毎週火曜・木曜 11:00～14:00 B日程 毎週火曜・木曜 15:30～18:30 C日程 毎週土曜 11:00～14:00・15:30～18:30 ※詳細については当館HPをご覧ください。(タイムスケジュールを掲載) ※短編作品をA～C各グループで1作品ずつ制作します。
場所	Artist Cafe Fukuoka AIR スタジオ(旧舞鶴中学校)ほか
対象	ドキュメンタリー映像を制作している方、映像制作を学んでいる方、興味をお持ちの方(経験は問いません)
募集人数	15人程度(3グループに分かれて活動)※応募多数の場合は抽選します。
応募方法	1. 氏名、2. 住所(市町村のみ)、3. 年齢、4. 職業、5. 携帯電話番号、6. 応募の理由とワークショップに期待すること、7. 希望する日程(A・B・Cのいずれか、複数可能な場合は、第1希望・第2希望の順にお書きください)を明記の上、メールで下記までお送りください。 contact@faam.ajibi.jp
応募締切	2023年1月13日(金)

参加型共同ワークショップ「記憶を編む」

参加型共同ワークショップ「記憶を編む」は、福岡にまつわる様々な場所の記憶や人々の物語を、映像を通して紡いでいくプロジェクトです。映像制作の経験のある人に加え、映画やメディア、視覚芸術などを学ぶ大学生や映像制作を習得したい人を対象としたワークショップを開催することで、ドクペルーの制作論を共有します。参加者は、グループを組んでドキュメンタリー映像作品を制作することを通して、福岡の特性や知見、多様な伝統や記憶の物語を掘り起こすことになるでしょう。



プロフィール

ドクペルー

ホセ・バラドとヒメナ・モーラによる映像制作ユニット。2003年の結成から20年にわたり、ペルーや他のラテン・アメリカ諸国で350本以上のドキュメンタリーを制作。地域の人々、歴史に密着した制作態度を保ち続けている。

問い合わせ

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係

TEL : 092-263-1103 / MAIL : contact@faam.ajibi.jp